’18

3泊4日・夏季合宿研修

実施報告書

きらめき未来塾2018
実 行 委 員 会

’18

3泊4日・夏季合宿研修

実施報告書

本年のテーマ

次世代に伝えたいこと

明治維新後150年の日本の歴史と現代の課題

きらめき未来塾2018
実 行 委 員 会

はじめに

実行委員会委員長 大竹 美喜

きらめき未来塾は、「青少年を対象に、日本の各界で活躍する第一人者を講師として、講義と討論を通し、コミュニケーション力やリーダーシップ力を身に付ける等の研修を実施し、日本の将来を担い、支えるリーダーを養成することを目的」として毎年夏季に宿泊研修を開催し、本年で 14 回目を迎えました。

この目的をかなえるための基本理念として以下の 5 項目を掲げています。

（イ）志を抱き、実現に向け挑戦し続ける「心強き人」

（ロ）思いやりを持ち、共生できる「心清き人」

（ハ）歴史や文化を理解し、人間的魅力のある「心深き人」

（ニ）世界中の仲間とコミュニケーションができる「心広き人」

（ホ）強い責任感と行動力のある「心熱き人」

明治維新から 150 年という大きな節目に当たる 2018 年度のきらめき未来塾では、特に (ハ) を強調した講義内容を軸としてカリキュラムを構成し、従来通り高校生を対象としてリーダー養成のための研修を行いました。

ここに実施報告書を作成し、ご支援とご協力を頂きました多くの関係者の皆様に衷心より感謝の念を表する次第です。

■ 開催日時

平成 30 年 8 月 6 日（月）～ 9 日（木）の 3 泊 4 日

■ 開催場所

【研修場所】日本青年館（東京都新宿区霞ヶ丘町 4 － 1）

【宿泊所】 日本青年館ホテル

■ 開催テーマ

「次世代に伝えたいこと　―明治維新後 150 年の日本の歴史と現代の課題―」

■ 後援団体

- 福島県県教育委員会
- 東京都教育委員会
- 東京都板橋区教育委員会
- 東京都私立中学高等学校協会
- 大阪府教育委員会
- 大阪私立中学校高等学校連合会
- 京都府教育委員会
- 京都市教育委員会
- 京都府私立中学高等学校連合会
- 兵庫県私立中学高等学校連合会
- 広島県教育委員会

目　次

はじめに　実行委員会委員長 大竹　美喜 …… 2

1　参加者（塾生）の概要 …… 4
(ア) 募集方法 …… 4
(イ) 選抜の仕方 …… 4
(ウ) 参加人数と参加高校 …… 4
(エ) 参加者の主な属性 …… 4

2　カリキュラム概要 …… 4
（ア）講義 …… 4
（イ）ディスカッション …… 5
（ウ）「学長シンポジウム」 …… 5
（エ）「チーム対抗講義プレゼンコンテスト」 …… 5
（オ）アファメーション …… 5

3　きらめき未来塾 2018 の総括 …… 6
(ア) アクティブ・ラーニングの取入れ …… 6
(イ) アファメーションによる目標の明確化 …… 6
(ウ) 今後の課題と指針 …… 7
(エ) 客観的評価の一環 …… 7
（オ）研修期間中の不慮の出来事 …… 7

4　写真で見る研修風景 …… 8

5　保護者の謝辞と卒塾生の感想文 …… 10
（ア）保護者から寄せられた謝辞 …… 10
（イ）塾生から寄せられた感想文 …… 10

資料１　参加高等学校 …… 13
資料２　合宿生活の心得 …… 14
資料３　きらめき未来塾 2018 実行委員一覧 …… 14
資料４　講師・役員一覧 …… 15
資料５　カリキュラム …… 16

1　参加者（塾生）の概要

(ア) 募集方法

きらめき未来塾は創立してから 14 年目を迎えますが、平成 29 年 11 月に、主たる事務所の住所を大阪から東京に移したこともあり、関東圏では知名度が低いことは否定できません。また、きらめき未来塾の組織形態から十分な職員数を確保することが難しいため、本年度の開催の周知として、①ホームページへの掲載、②全国の教育委員会、私学協会等を通じて各高校に開催案内パンフレットを郵送もしくはデータで送付、③きらめき未来塾 2018 の実行委員会委員を中心とした個別の広報、という形で行いしました。

なお②の教育委員会を通したパンフレットの郵送もしくはデータの送付に関しては、必ずしも後援を申請しなくても協力頂けたり、逆に後援を頂いていてもパンフレットの配布には非協力であったり、対応が分かれました。

所得格差と教育機会の格差との相関が重大な社会問題となりつつある現在において、非営利事業として教育機会の提供を行うきらめき未来塾のような活動は他にあまりないことは協力を拒んだ教育委員会でも認めていました。協力を拒む理由は、主に①前例がない、②一団体に協力すると他の団体にも協力せざるを得ない、ことを挙げていましたが、現場での硬直的な対応は非常に残念でした。

(イ) 選抜の仕方

参加者（塾生）に対しては、集団生活で研修を受けて頂くことになりますので、学校推薦と、論理的な思考力を見るための小論文（800 字）の提出を求めております。本年は、①「人間と AI について」、②「第二次世界大戦後の日本について」、③「自らの人生について」、の三つのテーマから一つ選ぶ形式で行いました。

なお、それぞれのテーマの選択人数は、① 42 人、② 17 人、③ 29 人でした。

(ウ) 参加人数と参加高校

参加人数は 88 人、参加高校は 58 校でした。

（参考：資料 1 ）

(エ) 参加者の主な属性

男性 29 人　女性 59 人

1 年生 45 人・ 2 年生 36 人・ 3 年生 7 人

参加都道府県数 23（最多は東京都の 34 名）

2　カリキュラム概要

カリキュラムは資料 5 をご覧下さい。

本年のカリキュラムの特徴として、①テーマに沿った講義内容とディスカッション・自らの振り返りを取り入れたこと、②全体イベントとして「学長シンポジウム」「チーム対抗講義プレゼンコンテスト」を企画したこと、③アファメーションによる自らの夢の確認、が挙げられます。

また、世代を超えたコミュニケーション環境を生み出す伝統文化の体験として、本年は花柳流の花柳　和先生※にお願いして扇子の使い方をカリキュラムに取り入れました。

※西原和総合舞踊研究所・日本舞踊「和の会」主宰、
和光大学非常勤講師

（ア）講義

講義講義は 90 分で、そのうち 60 分程度が講師による講義、残り時間をディスカッションに割振りました。講義ではスクール形式でチーム（塾生 11 人で構成し、大学生・社会人のサポーターを各チームに 2 人ずつ配置）毎に着席しました。講

義テーマについては、資料4をご覧下さい。

（イ）ディスカッション

ディスカッションに関しては、原則として講師が予め提示したテーマに沿って、30分程度を割振り、適時サポーターがフォローしながら、チーム毎に話し合いました。多くの塾生が感想文の中で、ディスカッションでしっかりした意見を発言するチームメイトに対して強く感銘し、刺激を受けたことを書き記しています。

（ウ）「学長シンポジウム」

「学長シンポジウム」に関しては、第10代東京学芸大学学長の鷲山恭彦塾長と、第12代早稲田大学総長の西原春夫先生（講師）がそれぞれ30分間、「高校と大学の違い」「身に付けておくべきこと」「進路の選択としての大学とは」「学部をどう選択するか」「入学後の過ごし方」「今後、社会に必要な人材」について基調講演を行いました。その後チーム毎に自分たちのチームの議論するテーマを話合い、模造紙を使って整理し、決定しました。その上で各人の「気づき」や疑問点について議論を深めました。サポーターはテーマの選定からフォローし、発言内容を適切に分類したり、自らの経験を話したり、チーム内で発言を促したりしました。最後のまとめとして、話し合った内容についてチーム毎に発表しました。

（エ）「チーム対抗講義プレゼンコンテスト」

塾生は3日間で10講義を受けたことなりますが、「チーム対抗講義プレゼンコンテスト」では、3日目の夜に行われました。そのプロセスは予め1チームを2つに分けて自分たちの担当講義を知らせておき、その講義を受けたことがない高校生を対象に、その講義のセールスポイントを競い合うというもので、まずチーム毎にポスターを作成し、評価の指標として、「ポスターデザイン」「チーム全員の参加」「制限時間厳守（5分）」「必要な情報の伝達」「どこがどのように面白いのか」などが提示されて塾生たちは、限られた時間の中でしたが、非常に創意工夫に溢れたプレゼンテーションを行いました。

（オ）アファメーション

アファメーションとは、現在において自らの夢が実現したものとしての状況を、強く意識することにより、コーチングを世に広める端緒となった実践理論です。世界中で、少なくとも3000万人以上の人が肯定的に評価し、昨今では、その有効性を裏付ける脳科学的なアプローチも行われています。

きらめき未来塾では、毎年の最後のイベントとして、アファメーションやそのヴァリエーションを行います。アファメーションには、自分の夢を書くに当たり、①現在形で書く、②ネガティブな表現を使わない、③個人的なものであること、④他人との比較をしない、などの約束があり、この約束を守った上で、未来の夢を実現している自分について、言葉で説明をしていきます。このアファーメーションでは、チームで代表者を2人選抜し、塾長の前で、改めて発表するという形式を取りました。

2日目にアファーメーションを説明する時間を取り、最終日の朝までに自分のアファーメーションを仕上げ、発表の仕方も練習しておくという流れで行いました。将来のことをすでに真剣に考えている塾生は、非常に具体的にアファーメーションを作成することができ、聞く側に大きな関心を引き起こしたことが、感想文から見て取れます。

3　きらめき未来塾 2018の総括

きらめき未来塾2018は、平成30年8月6日（月）から9日（木）までの3泊4日にわたり、全国から88名の高校生が塾生として参加、また塾生の学びを支援するサポーターは大学生を中心に17名が参加して東京の日本青年館で行われました。

塾生は、朝6時30分の体操から、夜9時までにいたるカリキュラムだけでなく、自室に戻ってからも振り返りシートを記入して、その日一日を振り返るなど中身が濃い日程をこなしました。

講義は各界の第一人者である10名の方にお願いし、塾生は普段の学校の授業では聞けない視点からの講義に非常に感銘を受け、また学長シンポジウム、講義プレゼンコンテストなど、限られた時間の中で話し合い、協力し合って素晴らしい成果を生み出しました。

さらに、塾生が参加してよかったことに必ず挙げているのが、日本全国から参加している塾生同士の交流です。例えば、自分の将来をきちんと語れる同年代の友人を目の当たりにして、大いなる刺激を受けたことなどが、感想文には記されています。

最後に、本塾の目標であるアファーメーションについては、自らの「やりたいこと」を実現するための実践的な試みです。自分の将来像をしっかり認識し、周りに流されない自分を作り上げるために、きらめき未来塾14年の歴史で様々なバリエーションを取りながら実施してきました。本年も、これまでの卒塾生に優るとも劣らない、立派なアファーメーションが発表されました。

卒塾生は、全日程を通して自らの行動を変え得る、様々な気づきを得ています。

この気づきが必ず今後、卒塾生の大きな財産となり得るものと確信しております。

（ア）アクティブ・ラーニングの取入れ

アクティブ・ラーニングとは、文部省によれば、「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査 学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク 等も有効なアクティブ・ラーニングの方法」です。

これまでわが国の教育は、「読み書き、そろばん」に象徴されるように、客観的に評価できる、「正解のある問題」に、過度に重点が置かれてきました。ところが、価値観の多様化が進むと、「答えを特定できない問題」にいかにして向かい合い、対応していくかが重要となってきます。高等教育の現場では、そうした対応が十分ではなく、地域や社会でそうした教育機会の提供が求められているのが現状です。

そうした問題意識から、今回のきらめき未来塾でもリーダーに最低限求められる資質として、「きちんと人の話を聞き、しっかりと自分の考えを伝える」ことの習得を参加塾生に求めました。そして、その機会が「講義の中のディスカッション」であり、「チーム対抗講義プレゼンコンテスト」であり、本塾の目標である「アファーメーション」です。

（イ）アファメーションによる目標の明確化

アファーメーションは一定の約束に従って自分の夢を描くことで、夢の実現を具体的に感じ、視覚化するところにポイントがあります。子供たちの夢を育てる応援団である一方、逆に奪ってしまうのは、親や学校の先生など、身近な大人である場合も多々あります。社会に出る前の子供たちは、「大人の意見」

に大きく影響を受けます。そうした「心理的な障壁」を乗り越えるためにもアファーメーションは有効です。

とくに、きらめき未来塾では、友人たち、サポーターたちが自分のことを理解してくれる存在であることが3泊4日の研修期間を通じて、はっきりと体感できます。これが、恥ずかしがらずに堂々と自らの夢を公表できる素地ともなっています。

また、自分の目標をできるだけ早く定めることが、限りのある人生において、非常に重要であることは言うまでもありません。

試験でいい点数を取ることが目標ではなく、自分らしく生きるために必要な素養を早く見つけ、困難を乗り越えていく力を養うことが、我が国の未来のリーダーの養成には必須です。

(ウ) 今後の課題と指針

18歳になると選挙権が既に与えられ、2022年からは成人年齢がこれまでの20歳から18歳に引き下げられることが決まっています。将来に責任を持つ一人の成人として、国のあり方についての自分の意見をきちんと持つことは避けて通れません。

つまり、これまで以上に高等学校教育が重要になってきます。

その一方で、所得格差により教育機会の格差が生まれ、新たな所得格差が生み出されていくという悪循環が、我が国でも指摘されています。

地域や社会でそうした格差の是正に取り組むことが喫緊の課題でありますが、学校教育の補完やさらなる学びの指針となる機会を提供するきらめき未来塾のような教育機会を無料で開催している団体は、他に類を見ないのが実情です。

したがって、現状のきらめき未来塾の知名度の低さは認めざるを得ませんが、一人でも多くの生徒・学生に弊塾を周知していくことが当塾にとっての大きな課題です。

そのためには、教育関連の既存団体と交流を深め、協力体制を整えていくことが何よりも急がれます。

(エ) 客観的評価の一環

最後に、今回の参加者（塾生）と保護者から寄せられた感想文の一部を掲載し、きらめき未来塾の客観的評価の一環とさせていただきます。（10頁参照）

（オ）研修期間中の不慮の出来事

① 急病人の対応

2日目夜に参加塾生の一人が発熱し、嘔吐も見られたため、深夜1時を過ぎていましたが、近隣の慶応病院に、事務局長が付き添い、診察を受けさせました。診断の結果、風邪でありましたが、他人に感染する恐れがあったため、個室を用意し、処方薬を服用させ、様子を見ました。翌朝、熱が下がり、台風の影響もまだなかったため、家族の了解を取り午前中で帰宅させることとしました。なお、上野駅から常磐線で土浦まで乗車するため、担当サポーターに上野駅まで同伴させました。

② 規則違反の塾生への対応

「夜11時以降は消灯し、他の部屋に出入りしてはならない」という規則に違反し、2日目の夜に男子4人が女子の部屋でトランプをしていたことが発覚しました。

そのため翌朝、1人ずつ事務局控室に呼び出し、事務局長から厳重に注意を与えました。

③ 接近する台風への対応

台風13号が、本研修期間中に関東地方に接近し、上陸する恐れが出ました。飛行機が欠航になった場合に影響を受ける人数を確認したところ、北海道と沖縄からの参加者、計4人が帰宅不可能性があることが分かりました。幸いなことに、予想が外れたため、塾生の帰宅にはまったく支障が出ませんでした。

4　写真で見る研修風景

1日目　8月6日

講　　義：徳川家広先生「江戸から見える現在の世界と日本」、
　　　　　渋澤　健先生「渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く」
イベント：入塾式、アイスブレイキング

入塾式 大竹美喜 実行委員会委員長

入塾式 水野彌一 理事長

徳川家広先生

渋澤健先生

入塾式 鷲山恭彦 塾長

塾生宣誓

講義の風景

アイスブレイキング

2日目　8月7日

講　　義：西原春夫先生「明治維新の光と影」、
　　　　　藤原　洋先生「産業革命の担い手とフィランソロフィストを目指して」、
　　　　　加藤丈夫先生「日本のマンガ文化を育てた先駆者たち」、
　　　　　遠山敦子先生「次世代を担う君たちに伝えたいこと」
イベント：学長シンポジウム

西原春夫先生

藤原　洋先生

加藤丈夫先生

遠山敦子先生

花柳先生

講義の風景

サポーターが議論を活性化

参考文献

3日目 8月8日

講　　義：板東久美子先生「『三四郎』の時代から現在、そして、未来の教育を考える」、
田中明彦先生「国際協力の意味と実際」、
小坂文乃先生「Transnational な生き方を学ぶ」、
鷲山恭彦先生「日本と中国の若者像」
イベント：講義プレゼンコンテスト

板東久美子先生

田中明彦先生

小坂文乃先生

講義プレゼンコンテスト直前

バイキング形式の食事

講義プレゼンコンテスト

講義プレゼンコンテスト 2

4日目 8月9日

イベント：アファーメーション、卒塾式

サポーターがアドバイス

アファーメーション・チーム発表 1

アファーメーション・チーム発表 2

卒塾式 大竹実行委員長挨拶

鷲山塾長より修了証書授与

チーム毎の記念撮影

5　保護者の謝辞と卒塾生の感想文

（ア）保護者から寄せられた謝辞

①奈良県　高校１年生保護者

この度は、きらめき未来塾 2018 夏季合宿に娘がお世話になりまして、大変有難う存じました。昨日、輝く表情をして帰宅してまいりました。

大変に恵まれた環境の中で、滅多にお目にかかることのできない先生方の貴重な講義と、全国から集まられた志ある同年代の方々との交流を通じ、学び、刺激、思惟、協力、友情、今までにはなかった熱い思いや新たな視点を体得させていただいたようです。

未来のリーダーとなる若者を育てるべく、高校生達にこのような貴重な体験の場を提供し、関わってくださいましたすべての皆様方に感謝の思いをお伝えしたく、不躾と存じましたが、メールをしたためさせていただきました。心より御礼申し上げます。

（イ）塾生から寄せられた感想文

①東京都　高校２年生

「きらめき未来塾」は、私にとって忘れられない思い出である。世界的にリーダーとして活躍する先生方による講義は何よりも貴重な経験となった。特に、私が印象的だと思った講義が２つある。それらは私にリーダーになるための新たな学びを教えてくれた。

（中略）

全国の高校生がひとつの場に集い、様々なジャンルの講義を聞き意見を共有する。この環境は、自分の意見を主張するのが苦手だった私に自信をくれた。自分の考えをどうしたら相手に明確に伝えられるのか。発言することや、意見を共有することが不得意だった私だからこそ、それをどう乗り越えるかを深く考える良い機会になった。私は、まずは自分が次世代の見本となれるようなリーダーになり、そこで学んだことを次世代へと語り継ぐかけはしとなりたい。

②大阪府　高校３年生

僕には昔から料理人になり料亭、もしくは居酒屋を開き、経営したいという夢があります。しかし、達成するためにはどうすればいいのか。

たくさん反対されているが、本当に出来るのか。という疑問で頭の中がパンパンになり、本来の何よりも美しい美術品である『笑顔』を見るために料理を始めたという事を忘れかけていました。

このきらめき未来塾に参加させていただいた事でその疑問や不安の雲がパッと晴れたような気がしました。

達成するためにはどうすれば良いのか。料理人になるためにはひたすらに学び、ひたすらに技術力をつけるに限るという事は分かっていました。しかし、経営となると何をすれば良いのか、全くわからなかった僕。しかし今回、様々な講義を受ける事で道が見えてきたような気がします。

たくさん反対されているが、本当に出来るのか。未来塾に入る前の自分なら、料理もまだまだ下手くそ、知識も全然無い。こんな自分に料理人、ましてや経営なんて出来るのか。とネガティヴな意見ばかりが浮かんで来たはずです。しかし、未来塾の講義を受け、やりたいからやる！やりたいけど出来ないからやりたいし出来るに変える！という事が大切だと学びました。卒塾した今なら、出来ない事を続ける事はとても大変で、諦めたくもなるかもしれない。それでもやりたい！笑顔が見

たい！という気持ちを忘れず、『見えない未来を信じる。』たったこれだけの勇気を持ち原点を忘れなければ必ず叶う！という考えで頭の中にネガティブな意見なんて入る余地もありません。

とても凄い人たちの講義を聞き、心優しきサポーターの皆様に助けて頂き、志がとても高い 87人の仲間とも出会い、意見交換をする。こんな経験はきらめき未来塾でしか出来ないとても貴重なものだと実感しました。一人一人全員が違い同じ人は一人としていない。自分と他人を比べる事はおかしい。過去の自分に負けない事、そして今日の自分に負けない明日の自分を作る。その事が大切だと学びました。

③ 宮城県　高校 1 年生

この四日間で、私の心に残ったこと、感じたことは三つあります。一つ目は、過去を知る大切さについてです。これは、講義から学びました。私は未来について、過去の歴史というものはあまり重要ではないと考えていました。なので、正しい未来の予測には過去を学ぶ必要があるということは、私の中に新たな風を吹かせました。二つ目は、みんなそれぞれ個性があり、それを強みにしているということを感じました。私が進学した高校は、個性を尊重する校風なので、みんな個性的です。しかし、それを超えるくらい、塾生のみんなは個性的でした。いろんな人と会うのは本当に面白くて楽しいことだと思いました。また、みんなに対して、尊敬の気持ちがたくさん湧いてきました。みんなそれぞれ目標、夢は違うけど、それに対していろんな志を持っていて、私はそれをとても嬉しく思い、勇気をもらいました。こんな素敵なみんなと新しい時代をつくることに希望を感じました。三つ目は、「もっと世界を知りたい。」と、思ったことです。この塾に参加するまで、私は外国にあまり興味がありませんでした。一昔前なら、これが通用していたかもしれません。しかし、これからの時代、外国との関わりが必要不可欠です。ディスカッションする中で、留学を希望する人の多さに驚きました。そして、その人たちの話を聞いたり、講義を聞いていると、「私も外国に行きたい」と思うようになりました。今までは、費用や言語の面で留学や外国に行くことに消極的に考えていたので、この新たな思いは、とても新鮮なものとなりました。

この四日間で、学びという面での収穫はもちろんあったものの、素敵な仲間ができたという収穫もあります。私はこれがとても嬉しかったです。たった 4 日間でこれほど仲良くなれたことは今までありません。そして、一つ考えさせられたことは、年齢という壁などいらないということです。私は高校一年生ですが、年上のみんなと一緒に対等にディスカッション出来たことは、ほんとうに良いことだと思います。これはぜひ、今から生かしたいと思います。

④ 京都府　高校 2 年生

今回の三泊四日のきらめき☆未来塾に参加したことで、私は本当に多くのことを学びました。

始めは、毎日講義をひたすらに聞いて過ごすだけだと思っていたので正直余り参加することに乗り気ではありませんでした。しかし、実際に講義を受けてみると、日々の学校生活では聞くことの出来ないような先生方の実体験を踏まえた話など、多くの興味深い話を聞くことが出来たのでとても勉強になりました。今回のきらめき☆未来塾のテーマであった『次世代に伝えたいこと』を過去の日本と今の私たちが住む日本の実態とを見比べながら考え、グループの仲間と様々な意見を出し合いディスカッションし、他のチームと意見を

交流するといった授業は未来塾ならではだな、と講義の回数を重ねるごとに強く思いました。このような経験はやはり日々の学校生活の中では中々味わうことができないので、仲間とディスカッションすることの大切さや自分とは違う意見を聞くことの面白さを学ぶことができました。自分の意見も何度か発言することができ、講義が終わった後に他のチームのメンバーから褒められたときは何とも言えない嬉しさがこみ上げてきたのを今でも鮮明に覚えています。

講義以外で強く印象に残っていることは、やはり三泊四日一緒に学び、過ごした仲間のことです。

仲良くなれるかが本当に不安だったのですが、会場に入った時の名刺交換の雰囲気で緊張がほぐれて自分から積極的に話しかけることができました。そのおかげで初日から自分のチーム以外の仲間とも多く交流することができました。特に、同じチームになったメンバーとの仲は切っても切れないものになったのではないか、と思っています。私は自分のチームが一番仲が良かったと断言出来る自信があります。これは私だけでなく、チームメンバー全員が言っていたので間違いないと思います。それだけに、プレゼンコンテストで賞をとれたときは泣きそうになるほど嬉しかったし、別れの日は抱きしめあって離れるのが辛かったほど物凄く寂しかったです。

未来塾のメンバーとはSNSを使って連絡先を交換し、卒塾した今でもよく連絡を取り合っています。未来塾で出会った仲間は私が講義の中で発言させていただいたように、何かの「縁」のおかげで出会えたものだと思っています。だから私はこの縁を、もっと言えば、きらめき☆未来塾に出会えたという縁をこれからも大切にしていきたいです。

今回のきらめき☆未来塾の参加は私を色々な意味で成長させてくれたと実感しています。新学期が始まれば私が学んだことを多くの人に伝えていきたいと思っています。来年も機会があれば参加したいと考えています。

⑤ 東京都　高校１年生

このキラメキ未来塾で一番よかったと思うことは全国に友達が増えたことです。この塾に参加せずに高校生活を送り大学に進学していたらこのような全国に散らばる友達というのはできなかったと思います。この友情はいまの時代はSNSが発達しているので連絡を取り合うことで長続きすると思います。SNSで友達を作るのは少し難しいところがあるとは思いますが友達と繋がるのは容易な時代なのでいまの時代だからこそこのような友達が多くできたことはとても重要なことだと思いました。またこのことは初対面の人でも仲良くなれるのだという自信にもなりました。ここで培った教養やコミュニケーション能力を生かして海外への留学もできればいいなと思いました。

多くの講師の先生方が高校生という多感な時期に留学するのはとても有意義だと仰っていましたがこのきらめき未来塾はその留学への一歩ともなると思います。

資料1　参加高等学校

	学校所在地	高校名
1	北海道	私立札幌聖心女子学院高校
2	北海道	北海道立北見北斗高校
3	青森県	私立松風塾高校
4	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高校
5	岩手県	岩手県立久慈高校
6	岩手県	専修大学付属北上高校
7	岩手県	岩手県立釜石高校
8	宮城県	宮城県立仙台第一高校
9	栃木県	栃木県立矢板東高校
10	栃木県	栃木県立黒磯高校
11	栃木県	私立作新学院高校
12	群馬県	群馬県立前橋高校
13	茨城県	茨城県立水戸農業高校
14	千葉県	千葉県立安房高校
15	千葉県	私立市川高校
16	千葉県	私立千葉商科大学付属
17	千葉県	私立日本体育大学柏高校
18	千葉県	千葉県立小金高校
19	埼玉県	私立城北高校
20	埼玉県	私立大妻嵐山高校
21	東京都	私立安田学園高校
22	東京都	私立成蹊高校
23	東京都	私立品川女子学院
24	東京都	私立早稲田実業高校
25	東京都	私立成城高校
26	東京都	私立淑徳高校
27	東京都	国立東京工業大学付属科学技術高校
28	東京都	私立富士見丘高校
29	東京都	私立郁文館グローバル高校

	学校所在地	高校名
30	東京都	私立田園調布学園高等部
31	東京都	私立昭和女子大学付属昭和高校
32	東京都	私立田園調布学園高等部
33	東京都	東京工業大学付属科学技術高校
34	東京都	私立国学院大学久我山高校
35	東京都	私立洗足学園高校
36	東京都	私立武蔵野星城
37	東京都	都立新宿山吹高校
38	神奈川県	私立横浜隼人高校
39	長野県	東京都市大学塩尻高校
40	静岡県	私立加藤学園暁秀高校
41	奈良県	国立奈良女子大学付属高校
42	京都府	私立京都橘高校
43	京都府	私立京都外大西
44	大阪府	大阪府立八尾高校
45	大阪府	関西学院千里国際高校
46	大阪府	私立清風高校
47	大阪府	大阪府立北千里高校
48	大阪府	私立早稲田摂陵高校
49	大阪府	私立大阪星光学院高校
50	大阪府	私立東大阪大学敬愛高校
51	兵庫県	兵庫県立鳴尾高校
52	兵庫県	私立賢明女子学院高校
53	広島県	広島県立広島高校
54	広島県	広島県立庄原実業高校
55	島根県	島根県立松江東高校
56	島根県	私立開星高校
57	佐賀県	私立弘学館高校
58	沖縄県	沖縄県立久米島高校

資料２　合宿生活の心得

① スケジュールに留意し、チーム全員（チーム分けは同封の別紙参照、各自確認しておいてください）がまとまって行動してください。

② 受付で名札、宿泊部屋割り、交流用名刺、T シャツを配布します。合宿中は名札を常に携行して下さい。

③ 服装は原則として自由ですが、講師に失礼のない服装を心掛けてください。

※短パンや、タンクトップ、ビーチサンダル等は不可です。また講義は朝の体操着、運動用の服装､スリッパのままで受けないようにしてください。研修室では靴を着用してください。

④ 講義中は携帯電話の電源を切り、私語はご遠慮ください。

⑤ 塾生の飲酒・喫煙は厳禁です。これらの行為を発見した場合は、即時、退塾して頂きます。

⑥ 部屋の移動、交代、消灯時間を過ぎての出歩きは禁止です。必ず施錠して就寝してください。起床は 6 時までに、消灯は 23 時厳守です。

⑦ 部屋はカードキーになり、3 人で 1 部屋です。（宿泊部屋割りは受付時にお知らせします）カードキーは、フロントのあるロビーフロア（9F）から客室フロアへ上がる際にエレベーターのカードセンサーにかざす必要があります。各部屋のカード差し込み口に 1 枚さすと通電します。もし、カードキーを紛失した場合は費用が 1000 円かかりますので注意してください。

⑧ Wi-Fi は全室完備しております。

ID：Nsk-wlan-guest　　パスワード：WnskPw1708

⑨ 貴重品は必ず自分で携行、管理してください。また、昼間に部屋の清掃を行いますのでベッドの上に衣類などを置いたままにしないでください。

⑩ 体調が悪い人、ケガ人が出た場合、また困ったことがあれば、何でもサポーターまたは事務局スタッフにご相談ください。

⑪ 帰宅後、高校推薦の生徒は、必ず、学校宛に帰宅した旨の報告をしてください。

⑫ 塾終了後、10 日以内に感想文を事務局宛に送ってください。

以上

資料３　きらめき未来塾 2018 実行委員一覧

委員長	大竹 美喜
委　員	水野 彌一、鷲山 恭彦、大久保 秀夫、小田 全宏、鈴木 靜雄、住川 雅洋、西原 春夫、林　浩美、松田 康将

資料４　講師・役員一覧

㋐ 講師と講義テーマ

（講義日順・敬称略）

講師名	主な役職	講義テーマ
徳川　家広	徳川記念財団・理事 （徳川宗家 18 代当主徳川恒孝長男）	江戸から見える現在の世界と日本
渋沢　　健	コモンズ投信株式会社・会長 （資本主義の父・渋沢栄一氏の５代目子孫）	渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く　！
西原　春夫	早稲田大学・第 12 代総長	明治維新の光と影 ― 1945 年の敗戦の要因はすでに明治維新に含まれていた―
藤原　　洋	株式会社ブロードバンドタワー・ 代表取締役会長兼社長 CEO	産業革命の担い手とフィランソロピストを目指して
加藤　丈夫	国立公文書館・館長、 富士電機株式会社・元会長	日本のマンガ文化を育てた先駆者たち
遠山　敦子	元・文部科学大臣、トヨタ財団・理事長、 静岡県富士山世界遺産センター・館長	次世代を担う君たちに伝えたいこと
板東久美子	元・消費者庁長官、元・文部科学省高等教育局長・文部科学審議官、日本司法支援センター法テラス・理事長	「三四郎」の時代から現在、そして、未来の教育を考える
田中　明彦	政策研究大学院大学・第４代学長	国際協力の意味と実際
小坂　文乃	日比谷松本楼・代表取締役社長 （孫文に莫大な支援を行った梅屋庄吉氏の曾孫）	Transnational な生き方を学ぶ。～孫文と梅屋庄吉
鷲山　恭彦	東京学芸大学・第 10 代学長	日本と中国の若者像

㋑ きらめき未来塾 2018 役員

（敬称略）

理事長	水野 彌一	京都大学アメリカンフットボール部・元監督
塾　長	鷲山 恭彦	東京学芸大学第 10 代学長・現名誉教授、 大日本報徳社・社長
理　事 （創立者）	大竹 美喜	アフラック・創業者、 教育再生実行会議・有識者メンバー
理　事	葭　範夫	株式会社ディボーション・代表取締役会長
理　事	足立 房夫	一般社団法人協力隊を育てる会・前会長、 難民審査参与員
理　事	内村 郁子	内村物産株式会社・代表取締役
理　事	大久保秀夫	株式会社フォーバル・代表取締役会長、 東京商工会議所・副会頭
理　事	小田 全宏	株式会社ルネッサンス・ユニバーシティ・ 代表取締役
理　事	久保 信保	一般財団法人自治体衛星通信機構・理事長、 元消防庁長官
理　事	下垣 真希	ソプラノ歌手、名城大学大学院多文化共生論講師 ／名城大学ドイツ語講師

理　事	鈴木 静雄	株式会社リブラン・相談役、 日本居住福祉学会・関東本部長
理　事	住川 雅洋	日本銀行情報サービス局・元局長、 株式会社千雅・上席顧問、広島銀行・社外取締役
理　事	竹岡 和彦	株式会社日豊社・代表取締役会長
理　事	田中千代美	株式会社千雅・代表取締役会長
理　事	西原 春夫	早稲田大学第 12 代総長・現名誉教授、 一般財団法人アジア平和貢献センター・理事長
理　事	林　浩美	森・濱田松本法律事務所パートナー、弁護士
理　事	前田 嘉昭	大阪教育大学講師、 大阪府立阿倍野高等学校・元校長
理　事	松田 康将	前・東京都議会議員
理　事	山田 庸男	梅ケ枝中央法律事務所・所長、弁護士
監　事	下村 昇治	下村・奥村税理士法人・代表税理士

資料5　カリキュラム

時間軸：6：30　7：00　8：00　9：00　10：00　11：00　12：00　13：00　14：00

日程	時間

1日目　8月6日（月）

●入塾式　式次第

タイムスケジュール	次　第	登　壇　者
12：50 ～	塾生・サポーター着席	
13：00 ～ 13：03	開会宣言（司会）	
13：03 ～ 13：06	国歌斉唱	
13：06 ～ 13：16	実行委員長挨拶	大竹美喜 理事
13：16 ～ 13：21	塾長挨拶	鷲山恭彦 理事
13：21 ～ 13：51	理事長訓話	水野彌一 理事長
13：51 ～ 14：10	合宿期間中の注意事項	尾関史生 事務局長
14：10 ～ 14：47	スタッフ紹介	サポーター代表
14：47 ～ 14：50	塾生代表宣誓	塾生代表
14：50 ～	閉会宣言（司会）	

※卒塾式の詳細については前日にお知らせします。

集合	昼　食	入塾式・オリエンテーション
日本青年館8階 受付 11:30	各自受付をすませ、用意してある弁当で食事 12：00 ～ 12：50	・左記式次第参照 ・合宿中の心構えと注意事項、参加塾生のチーム分けと担当サポーターの紹介 13：00 ～ 14：45

2日目　8月7日（火）

体操散歩	朝　食	チームミーティング朝	休憩	講　義　C	休憩	講　義　D	昼　食	講　義　E
日本青年館1階入口 6:30 ～ 7:00 動きやすい服装	全員で食事 7：00 ～ 8：00	・講師紹介、講義概要 ・講義の振り返り 8：00 ～ 8：45 ・前日記入のワークシート ・ガイダンス	休憩	【講師】**西原春夫** 先生 「明治維新の光と影」 9：00 ～ 10：30 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	休憩	【講師】**藤原　洋** 先生 「産業革命の担い手とフィランソロピストを目指して」 10：45 ～ 12：15 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	全員で食事（弁当） 12：15 ～ 13：15	【講師】 **加藤丈夫** 先生 「日本のマンガ文化を育てた先駆者たち」 13：15 ～ 14：45 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具

3日目　8月8日（水）

体操散歩	朝　食	チームミーティング朝	休憩	講　義　G	休憩	講　義　H	昼　食	講　義　I
日本青年館1階入口 6:30 ～ 7:00 動きやすい服装	全員で食事 7：00 ～ 8：00	・講師紹介、講義概要 ・講義の振り返り 8：00 ～ 8：45 ・前日記入のワークシート ・ガイダンス	休憩	【講師】**板東久美子** 先生 「『三四郎』の時代から現在、そして、未来の教育を考える」 9：00 ～ 10：30 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	休憩	【講師】**田中明彦** 先生 「国際協力の意味と実際」 10：45 ～ 12：15 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	全員で食事（弁当） 12：15 ～ 13：15	【講師】 **小坂文乃** 先生 「Transnationalな生き方を学ぶ。～孫文と梅屋庄吉」 13：15 ～ 14：45 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具

4日目　8月9日（木）

体操散歩	朝　食	チームミーティング朝	休憩	卒塾式・アファーメーション	撮影	昼食
日本青年館1階入口 6:30 ～ 7:00 動きやすい服装	全員で食事 7：00 ～ 8：00	各自アファーメーション原稿を作成 8：00 ～ 8：45 ・前日記入のワークシート ・ガイダンス	休憩	・チーム内で一人ずつ自分のアファーメーションを発表 ・チームの代表者を話合で選出 ・代表者は塾長と全塾生の前で宣言 ・塾長からコメント＆修了証書授与 ・塾長講話 9：00 ～ 11：40 ・アファーメーション原稿	チーム毎に記念撮影 ・配布Tシャツ着用 11:40 ～ 12:15	食後、解散（弁当） 12：15 ～ 13：00

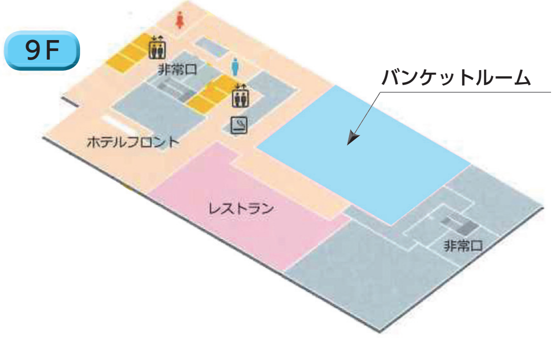
日程	時間

時間軸：6：30　7：00　8：00　9：00　10：00　11：00　12：00　13：00　14：00

日程		14:00		15:00		16:00〜18:00				19:00〜21:00	21:00
1日目	8月6日(月)		休憩	**講義A** 【講師】**徳川家広** 先生 「江戸から見える現在の世界と日本」 15：00〜16：30 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	休憩	**講義B** 【講師】**渋澤　健** 先生 「渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く！」 16：45〜18：15 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具		**チェックイン** 18:15〜18:45	**夕食** 全員で食事 18：45〜19：30	**全体時間（アイスブレイキング）** ゲーム等による参加塾生の交流 19：30〜21：00	**振返りシート記入** 講義の振り返り 21:00〜21:30 ワークシートに記入
2日目	8月7日(火)		休憩	**講義F** 【講師】**遠山敦子** 先生 「次世代を担う君たちに伝えたいこと」 15：00〜16：30 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	休憩	**チームミーティング夕方** 未来へのアプローチ ・過去と現在を振り返り、興味・関心・感動を再確認、これからも関わっていきたいことの選択、自分と社会の未来のイメージを描く 16：45〜18：15 筆記用具	休憩	**日本舞踊** 【講師】**花柳和** 先生 日本舞踊披露、扇子の使い方の教授 18：25〜18：55 扇子を配布	**夕食** 全員で食事 19：00〜19：45	**全体時間（学長シンポジウム）** ・鷲山塾長と西原先生による大学についての基調講演 ・ディスカッションを含む 19：50〜21：00	**振返りシート記入** 講義の振り返り 21:00〜21:30 ワークシートに記入
3日目	8月8日(水)		休憩	**講義J** 【【講師】**鷲山恭彦** 先生 「日本と中国の若者像」 15：00〜16：30 ・資料は講義前に配布 ・事前学習等の資料 ・筆記用具	休憩	**チームミーティング夕方** ・チーム対抗講義プレゼンテーションの準備 16：45〜18：15		**夕食** 全員で食事 18：15〜19：15		**全体時間（チーム対抗講義プレゼン）** ・チーム毎に講義を受けて「気づき」を得たところ、関心を持ったところなどをプレゼンテーション形式で発表 ・投票によって上位チームを表彰 19：15〜21：00	**振返りシート記入** 講義の振り返り 21:00〜21:30 ワークシートに記入
4日目	8月9日(木)										

●**色別凡例**（場所・休憩時間）

- 黄：8Fカンファレンスルーム・イエロー
- 水色：9Fバンケットルーム
- 紫：各自室
- ピンク：休憩15分
- オレンジ：休憩10分



日程
14：00　15：00　16：00　17：00　18：00　19：00　20：00　21：00　22：00

卒塾式の後、全員で記念撮影（2018. 8. 9）

きらめき未来塾 2018 報告書作成日　2018. 9. 25

認定NPO法人　きらめき未来塾
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6 - 6 - 2 新宿国際ビルディング 1 階
電話 03-6454-0114　FAX 03-6302-0553
E-mail：info@kiramekimiraijuku.jp
URL http://kiramekimiraijuku.jp/